

令和 5 年 2 月 28 日

令和 4 年度 仙台市公共事業再評価の結果と対応方針

仙台市長 郡 和子

令和 4 年度に再評価を実施した下記事業の再評価の結果と対応方針は、仙台市公共事業再評価検討委員会が作成した対応方針案を踏まえ、下記のとおりとする。

記

再評価の結果と対応方針

事業名	再評価結果	対応方針案
今市福田線（高江工区）道路事業	別紙 1 のとおり	事業継続
青葉山公園整備事業	別紙 2 のとおり	事業継続
西公園再整備事業	別紙 3 のとおり	事業継続
海岸公園整備事業	別紙 4 のとおり	事業継続

(様式-1:再評価)

令和4年度 再評価対象事業リスト (道路事業)

事業名 今市福田線(高江工区)道路事業

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
	事業着手年度	H30	R03迄 事業費 (D)	25.1億円					
<p>当該工区は、一般県道今市福田線と主要地方道仙台松島線との交差点を起点に仙台塩釜港方面へ約1.1kmの区間で、仙台松島線と仙台塩釜港を結ぶ重要な路線の一部であるとともに、唯一の2車線区間であることから、仙台松島線との交差点においては慢性的な渋滞が発生している。</p> <p>また、宮城県が進めている宮城県広域防災拠点事業に伴い、仙台貨物ターミナル駅の移転工事が当該工区に隣接して進められている。</p> <p>このようなことから、幹線道路網の整備による慢性的な渋滞の解消を図るとともに、国際拠点港湾となっている仙台塩釜港と新貨物ターミナル駅等とを結ぶアクセス道路として、物流ネットワークの強化を目的に当該工区の4車線化を行うものである。</p>	用地買収着手年度	R02	R03迄 用地費 (E)	0.8億円	<p>当該地区においては、仙台貨物ターミナル駅移転のほか、仙台市岩切山崎今市東土地区画整理組合による区画整理が進められている。</p> <p>平成30年度から、測量・詳細設計・境界確定を行っており、先行買収により用地が確保されていた工区終点部は令和元年度から、工区起点部については令和2年度からそれぞれ工事に着手している。また、新たに用地取得が必要となった工区中間部については、令和2年度から用地取得に着手している。</p> <p>工事、用地とも概ね順調に進んでおり、用地については令和4年度末、工事については令和5年度中の完了を見込んでいる。</p>	<p>事業全体のB/C B=49.7億円 C=42.4億円 B/C=1.17</p> <p>一年遅れた場合のB/C B=47.8億円 C=42.2億円 B/C=1.13</p> <p>現時点までのB/C B=0.0億円 C=32.5億円 B/C=0.00</p> <p>残事業のB/C B=49.7億円 C=9.9億円 B/C=5.03</p>	事業継続		
	工事着手年度	R01	R03迄 工事費 (F)	24.3億円					
	完了予定年度	R05							
	全体事業費 (A)	39.9億円	全体進捗率 (D/A)	62.9%					
	全体用地費 (B)	1.1億円	用買進捗率 (E/B)	72.7%					
	全体工事費 (C)	38.8億円	工事進捗率 (F/C)	62.6%					
	全体計画	L=1,100m W=22m	供用延長・整備率等	0.0m 34.5%					

令和4年度 再評価対象事業リスト (都市公園等事業)

事業名 青葉山公園整備事業

(別紙2)

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因 の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
	全 体	R4年度							
<p>公園種別：総合公園 整備面積：42.1ha</p> <p>〈事業の目的〉 青葉山公園は、仙台の礎である仙台北城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。</p> <p>計画テーマ (将来像) 《仙台の誇りを育み 心に染み入る歴史と自然の景域づくり》</p> <p>〈整備の内容〉 1) 国史跡指定地区 [歴史・文化ゾーン] ・本丸広場 ・登城路 ・長沼, 五色沼 ・復元堀 ・二の丸跡</p> <p>2) 追廻地区 [いこい・にぎわいゾーン] ・仙臺緑彩館 (旧 (仮称) 公園センター) ・中央広場 ・桜の小径 [自然散策ゾーン] ・自然散策広場 ・自然学習施設 ・自然散策路 ・親水空間</p> <p>3) 国際センター地区 [交流ゾーン] ・エントランス広場 ・交流広場 ・桜の小径</p>	事業着手年度	H9	R4迄 事業費 (D)	億円 204.7	<p>青葉山エリアにおいて、令和4年1月にはせんだい青葉山交流広場に新音楽ホールの建設が決定したほか、令和5年度には青葉山公園追廻地区をメイン会場とした全国都市緑化仙台フェアが開催される。</p> <p>青葉山エリアの社会情勢が大きく変化中、青葉山公園に求められる機能・果たすべき役割も非常に重要となっており、周辺施設と連携を深めながら杜の都のシンボルとなる公園として整備が求められている。</p> <p>追廻地区の移転未了は1区画となっているが、令和4年度内に移転完了の見込みである。</p>	<p>現在、追廻地区の整備を進めており、令和5年4月より開園予定である。また、開園に合わせて青葉山公園の一部 (追廻地区、竜ノ口地区) において指定管理者による管理が始まる予定である。開園後は、追廻地区をメイン会場とした全国都市緑化仙台フェアが開催される。今後は、国史跡指定地区である中島池等の未整備箇所について庁内関係課の動向をふまえながら整備を行っていく。</p> <p>[追廻地区移転補償契約状況] R4.8.11現在 598区画 契約率 100%</p>	<p>事業の効果 B：3,288.3億円 C：523.6億円 B/C=6.28</p> <p>一年遅れた場合の事業効果 B：3,274.2億円 C：523.6億円 B/C=6.25</p> <p>R4年度までの効果 B: 2,200.8億円 C：475.3億円 B/C=4.63</p> <p>来年度からの効果 B: 1,087.49億円 C：48.25億円 B/C=22.5</p>	事業継続	※29年度再々々評価実施
	用地買収着手年度	H9	R4迄 用地費 (E)	億円 108.8					
	工事着手年度	H9	R4迄 工事費 (F)	億円 95.9					
	完了予定年度	R8							
	全体事業費 (A)	億円 218.1	全体進捗率 (D/A)	93.9%					
	全体用地費 (B)	億円 108.8	用買進捗率 (E/B)	100.0%					
	全体工事費 (C)	億円 109.3	工事進捗率 (F/C)	87.7%					
	全体計画	42.1ha	供用延長・整備率等	32.6 77.4%					

令和4年度 再評価対象事業リスト (都市公園等事業)

事業名 西公園再整備事業

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因 の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
	全体		H24年度						
<p>明治8年に開設された本公園は、本市で最も歴史のある公園であり「杜の都・仙台」を代表する公園として、四季折々を通じて市民に親しまれている。しかしながら、各施設の老朽化による、図書館や天文台の移転に加え、地下鉄東西線の整備に伴い「(仮称)西公園駅」が建設されることとなった。これを契機に、施設や広場の全面的な見直しを行い、「緑の回廊づくり」の拠点に相応しい、より市民に親しまれる公園として、再整備を行うものである。</p> <p><整備の内容> 〔西道路北側〕 ・旧市民図書館の跡地は、池の修復と庭園の復元を図り、緑と水が創り出す趣きある和風空間のエリアとして整備する。</p> <p>・既存の遊具広場と多目的広場を生かし、イベントや避難の場ともなる空間を整備する。</p> <p>〔西道路南側〕 ・少年野球場跡地は、桜を鑑賞できる「お花見広場」とし、芝生広場の整備を行い、桜の木を植栽する。</p> <p>・地下鉄東西線の駅が設置される南口メインエントランス付近は、様々なイベントに対応できる市民文化活動の広場として整備する。</p> <p>・市民プール跡地は広大な芝生広場とし、広瀬川沿いに桜並木を配置して、広瀬川と公園との美しい景観の向上を図りながら遊歩道を整備する。</p>	事業着手年度	H19	H22迄 事業費 (D)	億円 5.9	<p><地下鉄東西線建設事業について> 地下鉄東西線は、本公園内の地下部及び地上部を通ることになっており、現在は使用・占用許可範囲の中で工事を行っている。そのため、公園の再整備は地下鉄建設がある程度完成に近づいてからでなければ行うことができない。一方、平成27年度の東西線開業に合わせて、公園内設置される地下鉄駅出入口のエリアは優先的に整備することが必要である。</p> <p><東日本大震災の影響について> 地震による本公園内の被害は、広瀬川に接する崖の一部が崩落し、園路及び柵の一部に傾きが生じた。現在は立ち入り禁止の措置をとっており、再整備事業において対策を講じる。</p> <p><イベント・活動の場> お花見広場エリアには、春はお花見、夏は花火大会の鑑賞の場として毎年多くの人が訪れている。西道路北側ゾーンにおいても、よさこい祭りやジャズフェスティバル、光のページェント等のイベントのほか、西公園プレーパークの会などが子供たちの自由な遊び場として利用している。</p>	<p>段階的整備 ・第1段階 (平成19～21年度) 桜岡大神宮北側 (お花見広場) の再整備</p> <p>・第2段階 (平成22～24年度予定) ※平成24年度現在 西道路北側の再整備 (旧市民図書館周辺を除く)</p> <p>・第3段階 (平成25～26年度予定) 池周辺を含めた北側の再整備</p> <p>・第4段階 (平成26～27年度予定) 桜岡大神宮南側の再整備 (地下鉄駅の出入口周辺)</p> <p>・第5段階 (平成27～28年度予定) 市民プール跡地の再整備</p>	<p>事業の効果 (B) : 1,069.6億円 事業の費用 (C) : 259.6億円 B/C = 4.12</p> <p>平成24年度までの効果 (B) : 128.6億円 (C) : 248.7億円 B/C = 0.52</p>	事業継続	
	用地買収着手年度		H22迄 用地費 (E)						
	工事着手年度	H19	H22迄 工事費 (F)	億円 5.9					
	完了予定年度	H28							
	全体事業費 (A)	億円 18	全体進捗率 (D/A)	% 32.8					
	全体用地費 (B)		用買進捗率 (E/B)						
	全体工事費 (C)	億円 18	工事進捗率 (F/C)	% 32.8					
	全体計画	ha 10.8	供用延長・整備率等	6.5ha 60.2%					
	全体 (変更後)		H29年度						
	事業着手年度	H19	H29迄 事業費 (D)	億円 16.4					
用地買収着手年度		H29迄 用地費 (E)							
工事着手年度	H19	H29迄 工事費 (F)	億円 16.4						
完了予定年度	H33								
全体事業費 (A)	億円 21.6	全体進捗率 (D/A)	% 75.9						
全体用地費 (B)		用買進捗率 (E/B)							
全体工事費 (C)	億円 21.6	工事進捗率 (F/C)	% 75.9						
全体計画	ha 10.8	供用延長・整備率等	7.8ha 72.2%						
全体 (変更後)		R4年度							
事業着手年度	H19	R4迄 事業費 (D)	億円 17.9						
用地買収着手年度		R4迄 用地費 (E)							
工事着手年度	H19	R4迄 工事費 (F)	億円 17.9						
完了予定年度	R8								
全体事業費 (A)	億円 25.3	全体進捗率 (D/A)	% 70.8						
全体用地費 (B)		用買進捗率 (E/B)							
全体工事費 (C)	億円 25.3	工事進捗率 (F/C)	% 70.8						
全体計画	ha 10.8	供用延長・整備率等	7.8ha 72.2%						
<p><西公園周辺を取り巻く状況> 広瀬川向かいでは青葉山公園整備が進み、国際センター側では音楽ホールの建設も予定されていることから、エリア全体での賑わい創出、人の流れの変化といった相乗効果が期待される。</p> <p><R5全国都市緑化仙台フェアメイン会場としての整備> 南側市民プール跡地は、令和5年度に開催される全国都市緑化仙台フェアのメイン会場の一つとなるため、現在、園路・多目的広場等の整備を行っている。フェア終了後も継続して階段・遊具・駐車場等の整備を進め、新たな市民の憩いの場となる予定である。</p>					<p><地下鉄東西線の開業について> 平成27年12月の地下鉄東西線開業に合わせて、駅出入口付近のエリアの整備を完了し、その後地下鉄上部の再整備を行い、地下鉄の広瀬川橋りょうを望む展望広場として平成28年度に完了しており、アクセス等の利便性が向上している。</p> <p><イベント・活動の場> お花見広場エリアは、これまでも春はお花見、夏は花火大会の鑑賞の場として毎年多くの人が訪れていたが、今年度より駅周辺の広場も利用できるようになり、さらに多くの人が楽しめるようになっていく。西道路北側ゾーンにおいても、よさこい祭りやジャズフェスティバル、光のページェント等のイベントのほか、西公園プレーパークの会などが子供たちの自由な遊び場として利用しているほか、SL広場の整備完了に伴い、仙台市蒸気機関車C601保存会が清掃やガイドなどを行っている。</p>	<p>段階的整備 ・第1段階 (平成19～28年度) 桜岡大神宮北側 (お花見広場等) の再整備</p> <p>・第2段階 (平成23～令和元年度) 中央広場周辺の再整備</p> <p>・第3段階 (平成26～30年度) SL広場とこけし塔前広場の再整備</p> <p>・第4段階 (令和2～6年度予定) 市民プール跡地の再整備</p> <p>・第5段階 (令和6～8年度予定) 市民図書館跡地の再整備</p>	<p>【事業全体のB/C】 (①) B=1,313.6億円 C=299.4億円 B/C 4.39</p> <p>【一年遅れた場合のB/C】 (②) B=1,313.0億円 C=299.3億円 B/C 4.39</p> <p>【現時点までのB/C】 (③) B=391.4億円 C=282.8億円 B/C 1.38</p> <p>【来年度から完了のB/C】 B=922.2億円 C=16.6億円 B/C 55.55</p>	事業継続	※24年度再評価実施
	事業着手年度	H19	R4迄 事業費 (D)	億円 17.9					
	用地買収着手年度		R4迄 用地費 (E)						
	工事着手年度	H19	R4迄 工事費 (F)	億円 17.9					
	完了予定年度	R8							
	全体事業費 (A)	億円 25.3	全体進捗率 (D/A)	% 70.8					
	全体用地費 (B)		用買進捗率 (E/B)						
	全体工事費 (C)	億円 25.3	工事進捗率 (F/C)	% 70.8					
	全体計画	ha 10.8	供用延長・整備率等	7.8ha 72.2%					
	全体 (変更後)		R4年度						
事業着手年度	H19	R4迄 事業費 (D)	億円 17.9						
用地買収着手年度		R4迄 用地費 (E)							
工事着手年度	H19	R4迄 工事費 (F)	億円 17.9						
完了予定年度	R8								
全体事業費 (A)	億円 25.3	全体進捗率 (D/A)	% 70.8						
全体用地費 (B)		用買進捗率 (E/B)							
全体工事費 (C)	億円 25.3	工事進捗率 (F/C)	% 70.8						
全体計画	ha 10.8	供用延長・整備率等	7.8ha 72.2%						

令和4年度 再評価対象事業リスト (都市公園等事業)

事業名 海岸公園整備事業

(別紙4)

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因 の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
	全体		H29年度						
<p>本事業は、市制施行80周年を記念して昭和46年度に良好な自然環境の保全を主な目的とした広域公園として着手した。</p> <p>本公園は、七北田川河口から名取川河口に至る延長約9km、海岸線から幅約600mの帯状の形をなしており、貞山運河を中心に両岸の保安林である黒松林、湿原、干潟及び砂丘等から構成されている。</p> <p>平成23年3月の東北地方太平洋沖地震に伴う巨大津波により、海岸公園内のほぼ全ての施設が被災し、大規模な被害を受けた。</p> <p>また、整備を行う地区は、埋め立て地や耕作地等であり、既に更地となっていた箇所を順次公園として拡大し、地区の特色を活かした4つのゾーンに分け整備を進めている。</p>	事業着手年度	S46	H29迄事業費 (D)	96.8 億円	<p>前回 (平成20年度) 以降の変化は以下のとおりである。</p> <p>公園全体 平成23年3月の東北地方太平洋沖地震に伴う巨大津波により、海岸公園内のほぼ全ての施設が被災し、大規模な被害を受けた。</p> <p>①蒲生地区 - ②荒浜地区 - ③井土地区 - ④藤塚地区 被災前、国土交通省による名取川藤塚地区河川改修 (河口高規格堤防整備) 事業が本格化し、公園用地との調整が完了した。</p>	<p>【災害復旧事業】 被災から平成25年度末までの3年間はがれき搬入場として活用された。蒲生・荒浜地区については平成26年度着手、平成28年度に完了し、平成29年7月までに順次利用再開してきた。また、井土地区については平成27年度着手、平成29年度完了予定である。なお、蒲生地区においては災害復旧と併せて、大規模大会の開催にあわせ、ダッグアウトや電気設備などの整備を実施した。</p> <p>【復興交付金事業 (避難の丘整備)】蒲生・荒浜・井土・藤塚地区において、災害復旧事業と併せ、避難の丘整備を実施。平成27年度に着手、平成28年度に完了した。</p> <p>①蒲生地区 海岸に近接した保安林内の樹林を保全する区域には未取得の用地があるが、現在用地取得に向けた境界確定の作業を進めており、引き続き用地取得に努める。</p> <p>②荒浜地区 未整備箇所については、相続登記が一部されていない地元住民が所有する共有地の用地買収に時間を要しているが、地権者との調整も進んでおり、引き続き整備に合わせ取得に努め、平成30年度の完成を目指している。</p> <p>③井土地区- ④藤塚地区 名取川藤塚地区河川改修事業の計画確定に伴い、平成22年度までに公園用地との調整や、事業用地内に入った公園施設の補償による移転が完了した。</p>	<p>【事業全体のB/C】 総便益 (B) 2,654.3億円 総費用 (C) 421.5億円 B/C 6.30</p> <p>【一年遅れた場合のB/C】 (②) B=2,653.9億円 C=421.3億円 B/C 6.30</p> <p>【現時点までのB/C】 (③) B=1,476.9億円 C=387.2億円 B/C 3.81</p> <p>【来年度から完了のB/C】 B=1,177.4億円 C=34.3億円 B/C 34.33</p>	事業継続	※20年度再々評価実施
	用地買収着手年度	S47	H29迄用地費 (E)	45.7 億円					
	工事着手年度	S47	H29迄工事費 (F)	51.1 億円					
	完了予定年度	H30							
	全体事業費 (A)	110.5 億円	全体進捗率 (D/A)	87.6%					
	全体用地費 (B)	57.7 億円	用買進捗率 (E/B)	79.2%					
	全体工事費 (C)	52.8 億円	工事進捗率 (F/C)	96.8%					
	全体計画供用予定面積	551.2ha 150.9ha	供用延長・整備率等	96.1ha 63.7%					
	全体 (変更後)		R4年度						
	<p>①岡田地区 (旧蒲生地区) 野球場やテニスコート等の運動施設</p> <p>②荒浜地区 防災機能のある多目的広場、パークゴルフ場、貞山運河の活用</p> <p>③井土地区 公式競技が行える馬術場や自然体験ができる遊び場 (冒険広場)</p> <p>④藤塚地区 湿地や干潟などの自然環境の保全、自然環境について学ぶ場</p>	事業着手年度	S46	R4迄事業費 (D)					
用地買収着手年度		S47	R4迄用地費 (E)	46.0 億円					
工事着手年度		S47	R4迄工事費 (F)	55.2 億円					
完了予定年度		R8							
全体事業費 (A)		102.9 億円	全体進捗率 (D/A)	98.3%					
全体用地費 (B)		46.7 億円	用買進捗率 (E/B)	98.5%					
全体工事費 (C)		56.2 億円	工事進捗率 (F/C)	98.2%					
全体計画供用予定面積		552.1ha 150.9ha	供用延長・整備率等	97.8ha 64.8%					